

序 幕

(前文)

世界に誇る歴史・文化・自然と人が共生する県都・岐阜市。

私たちのまちには、道三・信長の国盗り物語をはじめとする歴史、1300年のかがり火・鶺鴒に代表される伝統文化、そして都市の真ん中に位置する金華山・長良川に象徴される自然に恵まれたすばらしいまちです。

地域やまちの^{かい}界隈・・・至る所に、輝く個性が、息づいています。

私たちはこのまちをステージとして、生活しています。そこでは、私たち一人ひとりが人生を織りなす“主役”であると同時に、先人から受け継いだまちを守り、育て、次の世代へと引き継いでいく役割を担っています。

各地域独自の文化や環境を活かし、住民の参画によって安全で安心して暮らすことのできるまちを築くとともに、岐阜市全体の地域力を高めていくことが求められます。

一方、私たちは、温暖化や森林破壊など、一人ひとりが生活を通じて地球規模の問題に深くかかわっていることを認識しなくてはなりません。人類の直面する課題に対し、将来にわたって持続可能な社会を築くという国際的かつ長期的な視点に立って、私たちの身近なまちづくりを考えることも必要です。

私たちは、性別・年齢・障害の有無、そして国籍を越えて、お互いが支え合うとともに、さらに住み良いまちにするため、自発的な社会貢献意識と積極的にまちづくりに参画する意識を身に付け、実行できる協働の社会環境を整備しなくてはなりません。

平和を基調としながら、お互いの人権を尊重し、家族、地域社会、人類、自然、生物への深い愛情をはぐくむとともに、子どもたちが主体性・社会性ある人間として個性を磨き合い、健やかに成長できる環境、そして、すべての市民が健康で豊かな生活を追求できる環境を築いていかななくてはなりません。

また、「行政にゆだねられてきた公共」という考えを見直し、市民が相互に、あるいは市民と行政が協力して「新たな公共」を築いていくことが必要です。

明るく、活気に満ちたステージを、私たち自身が演出し、ともに行動し、ともに学び、ともに育ち合おうではありませんか。そして、魅力あふれる舞台を、ともに発信しようではありませんか。

みんなが“協働のまちづくり”を進めるため、そして明日の住民自治への歴史を刻むための大いなるシナリオとして、この指針をみんなで共有していこうではありませんか。